



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日

上場会社名 株式会社ユアテック 上場取引所 東  
 コード番号 1934 URL <http://www.yurtec.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 社長執行役員 (氏名) 佐竹 勤  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 進一 TEL 022-296-2111  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	90,266	0.2	524	△ 54.0	791	△ 55.2	185	△ 82.0
2019年3月期第2四半期	90,116	△ 5.1	1,138	△ 66.1	1,765	△ 53.2	1,033	△ 58.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 182百万円(△84.3%) 2019年3月期第2四半期 1,165百万円(△57.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	2.60	—
2019年3月期第2四半期	14.45	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	184,231	115,103	62.5
2019年3月期	195,444	115,608	59.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 115,067百万円 2019年3月期 115,572百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2020年3月期	—	10.00			
2020年3月期(予想)			—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	210,000	2.9	7,000	△ 25.5	7,400	△ 27.3	4,900	△ 26.1	68.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名 —)、除外 — 社 (社名 —)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	72,224,462株	2019年3月期	72,224,462株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	711,474株	2019年3月期	711,355株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	71,513,064株	2019年3月期2Q	71,513,755株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

(参考)個別業績予想

2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	200,000	3.3	6,000	△ 21.3	6,500	△ 23.5	4,400	△ 22.1	61 . 53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
3. (参考) 個別業績の概要	9
(1) 2020年3月期第2四半期の個別業績	9
①個別経営成績(累計)	9
②個別財政状態	9
(2) 個別業績の工事別・得意先別内訳	10
①工事別受注工事高	10
②工事別完成工事高	10
③工事別手持工事高	10
④得意先別受注工事高	11
⑤得意先別完成工事高	11
⑥通期受注工事高及び完成工事高の予想	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、中国経済の減速等により輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで個人消費が持ち直しているなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界においては、公共投資は底堅さが増しており、民間設備投資は高水準の企業収益を背景に緩やかな増加基調で推移したものの、受注競争の激化や労務費・資材費の上昇傾向が続く状況となりました。

このような状況のもと、当社は、中期経営方針に基づく3つの主要施策に、企業グループ一丸となって取り組んでおります。

具体的には、当社事業の基盤である東北6県および新潟県においては、お客さまニーズの的確な把握による積極的な提案営業活動を展開し、新築とリニューアル工事を両輪とした受注拡大に努めております。

建設需要が高水準の関東圏においては、大型物件を受注ターゲットとし、受注高の安定的な確保と低コスト体制の確立を推進しております。

海外事業においては、ベトナム事業の再強化として現地社員の育成に注力するとともに、ベトナム周辺国へ事業を展開し、海外事業基盤の拡大に取り組んでおります。

また、多くの計画が予定されている風力発電事業においては、積極的な営業活動を展開し、受注の拡大に取り組んでおります。

さらに、電力工事においては、今後の東北電力発注工事量の減少を見据え、効率的かつ低コストな施工体制を構築するとともに、一般市場における工事の受注にも積極的に取り組んでおります。

加えて、本年7月にはグループ会社3社を合併し、「株式会社ユアテック宮城サービス」をスタートさせ、効率性の向上による競争力の強化と、当社企業グループのさらなる企業価値向上をはかってまいりました。

こうした収益力拡大に向けた取り組みに加え、働き方改革の一環としてIT環境の整備や業務の見直し等による生産性の向上をはかるなど、業務負荷の低減と効率的な業務運営を両立させる基盤づくりに取り組んでいるところであります。

当第2四半期の連結売上高は、電力工事が減少したものの、海外工事やリニューアル工事が増加したことなどにより、90,266百万円（前年同期比 0.2%増）となりました。

また、損益面については、情報システム関連費用が増加したことなどにより、連結営業利益 524百万円（前年同期比 54.0%減）、連結経常利益 791百万円（前年同期比 55.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 185百万円（前年同期比 82.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における資産合計は 184,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ 11,212百万円減少いたしました。これは、完成工事未収入金等の売掛債権の減少などによるものであります。

負債合計は 69,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ 10,707百万円減少いたしました。これは、工事未払金等の支払債務の減少などによるものであります。

純資産合計は 115,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ 504百万円減少いたしました。これは、利益剰余金の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の先行きは、通商問題による海外経済の不確実性や消費税率引き上げによる消費の落ち込み懸念などに留意する必要があるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。

建設業界においては、公共投資は底堅く推移していくことが見込まれ、民間設備投資は高水準の企業収益や成長分野への対応等を背景に緩やかに増加していくことが期待されます。一方、東北電力株式会社における2020年4月の送配電部門の法的分離に伴う工事予算の抑制や競争入札の拡大などが見込まれ、経営環境の変化に適切に対応していくことが求められます。

以上のような経営環境のもと、当社は、中期経営方針に基づく3つの主要施策（力点）に企業グループの総力を結集して引き続き取り組んでまいります。

[中期経営方針に基づく主要施策（力点）]

力点①：「安全」・「品質」・「信頼」のユアテックブランドに磨きをかけていきます

◎「安全・品質・信頼は不変の価値である」との揺るぎない信念に基づいた企業活動の推進

力点②：地域需要を掘り起こす営業活動を強化するとともに、成長市場への展開を加速します

◎東北・新潟のお客さまニーズの的確な把握による受注戦略の展開

◎電気事業の変化を見据えた業務運営体制の構築

◎成長市場への取り組み強化による利益ある成長

◎生産性向上による競争を勝ち抜く強靱な企業体質への変革

力点③：時間管理の意識を高め、働きやすく人を活かす企業を目指します

◎働き方改革の推進に向け、スピードある意思決定と行動の実践

◎将来を見据えた人材育成と職場環境の整備

なお、通期の業績予想については、当第2四半期は計画どおり推移しており、2019年7月30日に公表した数値から変更は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	32,899	33,953
受取手形・完成工事未収入金等	60,752	49,904
電子記録債権	6,305	5,091
有価証券	4,999	4,999
未成工事支出金	3,479	6,022
その他	17,457	15,178
貸倒引当金	△150	△105
流動資産合計	125,744	115,045
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	20,007	20,516
土地	17,474	17,479
その他（純額）	10,698	9,671
有形固定資産合計	48,181	47,666
無形固定資産	1,524	1,491
投資その他の資産		
その他	20,201	20,301
貸倒引当金	△207	△273
投資その他の資産合計	19,994	20,027
固定資産合計	69,700	69,186
資産合計	195,444	184,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	30,696	26,036
電子記録債務	10,490	7,263
短期借入金	3,126	3,101
工事損失引当金	424	266
役員賞与引当金	90	—
その他	11,306	9,415
流動負債合計	56,133	46,082
固定負債		
長期借入金	6,460	5,687
役員退職慰労引当金	142	97
退職給付に係る負債	15,230	15,414
その他	1,869	1,846
固定負債合計	23,702	23,045
負債合計	79,835	69,128
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,803	7,803
資本剰余金	7,819	7,849
利益剰余金	101,642	101,136
自己株式	△376	△376
株主資本合計	116,889	116,413
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165	172
土地再評価差額金	△2,031	△2,054
為替換算調整勘定	12	11
退職給付に係る調整累計額	537	525
その他の包括利益累計額合計	△1,316	△1,345
非支配株主持分	35	35
純資産合計	115,608	115,103
負債純資産合計	195,444	184,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	90,116	90,266
売上原価	79,976	80,463
売上総利益	10,140	9,802
販売費及び一般管理費	9,001	9,278
営業利益	1,138	524
営業外収益		
受取利息	101	116
受取賃貸料	127	140
為替差益	277	—
その他	145	139
営業外収益合計	652	396
営業外費用		
為替差損	—	93
遊休資産諸費用	19	26
その他	5	8
営業外費用合計	25	129
経常利益	1,765	791
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	38	—
特別利益合計	38	0
特別損失		
減損損失	26	142
その他	97	55
特別損失合計	123	197
税金等調整前四半期純利益	1,680	593
法人税、住民税及び事業税	655	438
法人税等調整額	△12	△33
法人税等合計	643	404
四半期純利益	1,037	188
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,033	185

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,037	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56	6
為替換算調整勘定	1	△0
退職給付に係る調整額	70	△11
その他の包括利益合計	128	△5
四半期包括利益	1,165	182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,161	180
非支配株主に係る四半期包括利益	3	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. (参考) 個別業績の概要

(1) 2020年3月期第2四半期の個別業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

① 個別経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	84,048	△ 2.2	47	△ 92.4	829	△ 39.6	390	△ 55.3
2019年3月期第2四半期	85,924	△ 5.6	616	△ 77.5	1,374	△ 57.9	873	△ 61.3

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
2020年3月期第2四半期	5.46
2019年3月期第2四半期	12.22

② 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	160,766	100,782	62.7
2019年3月期	170,191	101,101	59.4

(2) 個別業績の工事別・得意先別内訳

① 工事別受注工事高

期別 工事別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	40,028	38.0	36,959	36.4	△ 3,069	△ 7.7
配電線工事	27,072	25.7	21,807	21.4	△ 5,265	△ 19.4
送電・発電・土木建築・ 情報通信工事	26,072	24.8	28,004	27.6	1,931	7.4
空調管工事	12,104	11.5	14,852	14.6	2,747	22.7
合計	105,278	100	101,622	100	△ 3,655	△ 3.5

② 工事別完成工事高

期別 工事別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	31,040	36.1	32,102	38.2	1,062	3.4
配電線工事	26,659	31.0	23,148	27.5	△ 3,511	△ 13.2
送電・発電・土木建築・ 情報通信工事	19,627	22.9	19,298	23.0	△ 329	△ 1.7
空調管工事	8,596	10.0	9,498	11.3	901	10.5
合計	85,924	100	84,048	100	△ 1,876	△ 2.2

③ 工事別手持工事高

期別 工事別	前第2四半期会計期間末		当第2四半期会計期間末		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
屋内配線工事	55,917	47.8	49,524	43.1	△ 6,392	△ 11.4
配電線工事	16,542	14.1	13,851	12.1	△ 2,691	△ 16.3
送電・発電・土木建築・ 情報通信工事	30,367	26.0	33,577	29.2	3,210	10.6
空調管工事	14,140	12.1	17,923	15.6	3,782	26.8
合計	116,967	100	114,876	100	△ 2,090	△ 1.8

④ 得意先別受注工事高

期 別 得意先別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	増減率 (%)
東 北 電 力 ㈱	44,682	42.4	40,849	40.2	△ 3,832	△ 8.6
一 般 得 意 先	60,596	57.6	60,773	59.8	177	0.3
合 計	105,278	100	101,622	100	△ 3,655	△ 3.5

⑤ 得意先別完成工事高

期 別 得意先別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		増 減	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	増減率 (%)
東 北 電 力 ㈱	37,932	44.1	34,349	40.9	△ 3,583	△ 9.4
一 般 得 意 先	47,991	55.9	49,698	59.1	1,707	3.6
合 計	85,924	100	84,048	100	△ 1,876	△ 2.2

⑥ 通期受注工事高及び完成工事高の予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

区 別 工事別	受注工事高		完成工事高	
	金 額 (百万円)	構成比 (%)	金 額 (百万円)	構成比 (%)
屋 内 配 線 工 事	75,000	37.1	71,000	35.5
配 電 線 工 事	54,000	26.7	54,500	27.2
送電・発電電・土木建築・ 情報通信工事	50,000	24.8	51,500	25.8
空 調 管 工 事	23,000	11.4	23,000	11.5
合 計	202,000	100	200,000	100

(注) ④、⑤の一般得意先は従来、得意先別に表示していた「官公庁」、「一般民間」を表示しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。